

# いつも一緒 富山のペットたち

「最近トイレに座っている時間が長い」「オシッコが赤い気がする」「やたらとお尻の辺りをなめているけど大丈夫？」「トイレで痛そうに鳴いている。便秘じゃないかしら」。

皆さんのうちの猫ちゃんで、こんな症状に気付かれたことはありませんか。これらは日常の診察で飼い主さんからよくお聞きする話です。



もしかすると、それは猫下部尿路疾患かもしれません。この病気は、原因の分からない特発性膀胱炎や、尿路結石を含めた泌尿器のさまざまな病気の総称です。オス猫で重症になることが多く、早期発見、早期治療がポイントです。様子を見ていても改善の見込みはなく、状況はますます悪化の一途をたどることが多いようです。

特に問題になりやすい尿路結石について、お話ししましょう。

まず、膀胱の中で尿路結石のもとであるストルバイト（リン酸アンモニウムマグネシウム）結晶やシュウ酸カルシウム結晶が作られます。この結晶は膀胱粘膜を刺激し、血尿や頻尿、炎

## 猫の尿路結石

あい動物クリニック院長  
（富山市小杉）

小杉 和伸



猫の膀胱の触診。尿が正常に出ているかが分かる  
＝あい動物クリニック

ス猫は尿路結石が膀胱の中で作られても、オス猫のように詰まって尿が出なくなることは少ないので、大事になることはあまりないと考えられます。しかし、過去には、尿路結石でオシッコが出なくなったメス猫も治療したことがあります。メス猫だからといって安心できるわけではありません。治療と再発防止に関しては、食事療法が非常に大切です。動物病院では尿路結石を溶かす食事を扱っています。獣医師から指示があった食事をなかなか食べられないなど、食事管理が難しい場合は、手術をすることもあります。包皮粘膜を使って

症を引き起こしたり、いつもと違う場所で排尿したりするようになります。

残尿感もあり、排尿後もすっきりしない猫ちゃんが多いようです。結晶は時に塊となり、尿路結石が作られます。膀胱の中にできた尿路結石が、排尿時に尿道に下りてきてオス猫のペニスに詰まってしまうと、症状は見る見る悪化します。

オシッコは水滴のようにポタツとしか出なくなり、食欲が徐々に

々になくなります。嘔吐することもあります。尿が出なくなったことで急性腎不全になり、尿毒症症状が起きているのです。この段階で動物病院に相談に来られる方が多いのですが、できればもう少し早い段階で来院していただきたいものです。尿毒症の症状は、大切な命にまで危険を及ぼす可能性があるからです。



尿が出なくなったときは、カテーテルを膀胱まで挿入して排出させる

が、オス猫は細くて長く、逆にメス猫は太くて短いのです。メ

数年前から行われている新しい術式は、術後のトラブルが少なく、以前よりも手術の成績は良くなっているようです。今回は、飼い主に早く異常に気が付いてもらえるように、症状と経過に重点を置いて紹介しました。治療については、担当獣医師と十分に相談し、的確に行っていただいたいと思います。

# 尿毒症で命の危険も

「いつも一緒 富山のペットたち」は、毎月第1木曜日に掲載します。